

算数オンライン塾 9 月 27 日の問題 解説

(1)

偶数の和は何枚でも偶数です。

奇数は奇数枚あればその合計は奇数。偶数枚あればその合計は偶数です。

$Y=5$ であったので、奇数は奇数枚あったことがわかります。

奇数は 1 枚、3 枚、5 枚です。

奇数が 5 枚であれば、 $A=0$ ですから、 $X=23$ であれば $B=23$ となり $Y=23$ となるはずなので、当てはまりません。

$A > B$ であれば、 $A - B = 5$ $A + B = 23$ ですから、 $A=14$ 、 $B=9$ となります。

$B > A$ であれば、 $B - A = 5$ $B + A = 23$ ですから、 $B=14$ 、 $A=9$ となってあてはまりません。(Bは奇数でなければならないからです。)

また奇数が 1 枚の場合は 9 となり、残りの 4 枚の合計が 14 になるのは、2、4、6、8 でも 20 となるのでありえません。

したがって奇数は 3 枚、偶数は 2 枚であることがわかります。

(答え) 偶数 2 枚、奇数 3 枚

(2)

奇数 3 枚の合計は 1、3、5 しかないので、偶数 2 枚の和は 4 と 10 か、6 と 8 です。

(答え) {1、3、4、5、10} {1、3、5、6、8}